

# 「港南区協働による 地域づくりの未来」



対 談

対談日 令和4年9月24日



関口 道秀さん  
(8期生)

日下地区スポーツ推進  
委員連絡協議会 会長  
雑色南自治会 会計

二見 美和子さん  
(7期生)

野庭住宅地区社会福祉  
協議会 事務局長  
野庭住宅地区  
主任児童委員

浪江 宏宗さん  
(8期生)

上大岡小学校  
地域防災拠点 委員長  
上大岡地区スポーツ  
推進委員

内海 宏さん

学び舎ひまわり  
コーディネーター



聞き手：長尾 佳代子  
(港南区地域力推進担当)



長尾 まず現在の活動内容についてお聞かせください。

浪江さん 4月から地域防災拠点の委員長を任せられましたので10月に行う防災訓練に向けての準備をしています。私は仕事でGPSに関係することもあり、衛星システムを活用した安否確認訓練を提案したところ了承されたので、大変楽しみにしているところです。

二見さん 様々な世代と一緒に楽しめるイベントや高齢者向けの講座などを企画し、運営しています。10月には昨年からはじめた自治会のハロウィンイベントを開催します。また、スマホ教室、地元病院の医師による健康講座を地区社協行事として開催します。

関口さん スポーツ推進委員として地域の皆さんに体験してもらええるイベントを企画し、運営しています。今年も誰かが楽しめるポッチャやグラウンドゴルフを行います。また、今年から自治会役員としての会計も担当しています。さらに地域活動に費やす時間が増えました。





**長尾** 皆さんほぼ同世代で既に自主的に様々な場面で活躍されていますが、同世代の地域活動への参加について何か感じることはありますか？

**浪江さん** 実は地域の活動に興味のある人、自分たちの世代にも結構いると感じています。自分から手を挙げにくいというだけで、誘われたら意外にあっさりと参加してくれるような気がしています。自分もそうでしたから。

担い手育成は大事なことです。自治会の役員がイベントに参加している会員に積極的に声をかけて地域活動の楽しさを伝えていけたらいいですね。

**二見さん** 私くらの年代で一度地域の役員を引き受けるとそのまま延々と役を引き受け続けることになるのでは？と危惧する人がいるように思います。

活動に係る期間を自分なりに決めて、その期間は頑張る！という考えでもいいと思うんですけど…

**関口さん** 私は様々な世代の人が楽しめるような場作りをすることが、この世代の間がすることだと思っています。

現在活躍している地域活動の先輩の皆さんを敬い、知恵を借りながら私たち世代が地域活動の魅力を発信していけたらと思っています。

そしてこの先、様々な世代が無理なく活躍していけるような仕組みづくりを進め、もろもろ整ってさらに時が来たら引退して後輩の皆さんにアドバイスしたりしたい(笑)

**一同** (笑)

**内海さん** 関口さんの考え方はおもしろいですね。担い手不足が地域の課題として挙げられることが多い中、みんなが無理をしなくて済む世代交代の仕組みがあるといいということですね。

他地区の話ですが、引っ越してきた方のウェルカムパーティーを自治会で開き、歓迎するとともに自治会の活動についてしっかりご案内する、という取組があり、これが自治会加入率アップにつながっています。いろいろな世代が関わりを持ちながら地域

の活動をまずわかりやすくしないと、外から入りようがない。地域活動への参加が魅力的に映れば、おのずと参加者は増えます。



**長尾** 皆さんがやってよかったと思うことや、これからやってみようと思っていることってなんですか？

**二見さん** コロナ禍で始めたハロウィンイベントですが、地域の方に「またやっつね！」と声をかけられたのがとても嬉しかったです。

この活動は学び舎ひまわり受講時に作成したマイプランの内容です。主役は子ども達ですが、高齢者の見守りも兼ねる内容にするべく民生委員さんに相談、当日も一緒に行動してもらいました。



**二見さん** また、このイベントは現在近隣の自治会や連合としての活動に発展しています。自分達だけでは出来ないことでも、他地区や他団体と協力すると出来ることってありますよね。

**浪江さん** 公園愛護会の清掃活動に誘われ何気なく関わるようになり、後日小学校のおやじの会の仲間と声をかけ一緒に活動するようにになりました。

高齢化が進み、公園の清掃がままならない時期もあったのですが、今では我々おやじ達がワイワイ楽しく愛護会の皆さんと一緒に活動しています。

私もマイプランの実践なのですが、団体での活動にとどまらず、別の団体とコラボすることで、大きな相乗効果が得られるのを感じます。何より楽しいんですよね。



**関口さん** 現在日下地区ではたくさんの行事を開催していますが、ほとんどが各種団体が参加する実行委員会方式での運営となっています。

各団体が持ち込んだ企画を連合が中心となり事前の調整を行い、当日の実行部隊は主に各種団体が行う。そうすることで連合の負担は減り、各種団体は安心して当日動くことが出来るんですよね。

コロナ禍で地域のお祭りなどのイベントが途絶えていましたが、今は参加する子ども達がみんないい笑顔を見せてくれていて、私もやりがいがあります。

**長尾** 皆さん話している時、いい顔されますね。ステキな活動をされているからこそと思います。

内海さん皆さんのお話聞いていかがですか？

**内海さん** 皆さんのお話で共通して言えることは、自分達で出来ることはしっかりと行った上で、地域全体で協力体制をとったり、アンテナを利かせて独自の協働相手を見つけているということ。

協働の相手も、自分たちも、そこに参加してくれる人も、興味関心でつながり、みんなが笑顔になれるということが大事ですね。港南区の協働による地域づくりは、そんな強さと温かさがある、ステキな取組だとあらためて実感しました。これから益々発展していくことを期待しています。

**長尾** 皆さんありがとうございました！

